



名古屋港と四日市港のコンテナターミナル管理運営
名古屋四日市国際港湾株式会社
NAGOYA-YOKKAICHI INTERNATIONAL PORT CORPORATION

令和8年8月25日
名古屋四日市国際港湾株式会社

飛島ふ頭南側コンテナターミナルが CNP認証（レベル4+++）を取得しました

国土交通省港湾局は、コンテナターミナルの脱炭素化の取組を評価する認証制度（CNP認証）の運用を令和7年度から開始しております。

この制度により、飛島ふ頭南側コンテナターミナルの借受者である飛島コンテナ埠頭株式会社が申請したところ、レベル4+++の認証を得ることになりましたので、お知らせいたします。

同ターミナルの遠隔自働RTG（タイヤ式門型クレーン）及びAGV（無人搬送台車）による自働荷役の取組等が高く評価されたものとなっております。

また、9月4日（金）には、飛島ふ頭南側コンテナターミナルにて認証書交付式が予定されており、申請者の飛島コンテナ埠頭株式会社とともに、共同取組者として名古屋港管理組合、当社も認証書を交付されます。

認証の詳細につきましては、別添及び以下の国土交通省HPをご参照ください
(URL: https://www.mlit.go.jp/report/press/kowan_news.html)

【お問合せ先】

名古屋四日市国際港湾株式会社
経営企画部経営企画課
担当：村瀬、奥
電話：052-307-4921

名古屋港 飛島ふ頭南側コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
飛島コンテナ埠頭株式会社	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 遠隔自働RTG及びAGVによるヤード荷役 ヤード照明のLED化 昼休みゲートオープン及び搬出予約の導入 管理棟照明のLED化及び屋上緑化
名古屋四日市国際港湾株式会社 名古屋港埠頭株式会社	ヤード照明のLED化
名古屋港管理組合	名古屋港港湾脱炭素化推進計画の作成 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の提供

[ターミナル概要]

名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナルは、大型コンテナ船に対応できる水深16mの耐震強化岸壁2バース、22列対応の免振装置付ガントリークレーン6基を備えた高規格コンテナターミナルです。遠隔自働RTG、AGV(無人搬送台車)を導入した日本初の自動化ターミナルで、ITを活用してこれらの機器の効率的な連携を図り、さらなる荷役効率の向上に取り組んでいます。これからもお客様に選ばれる持続可能なコンテナターミナルとして、深化と進化を続けていきます。



認証レベル
Level 4 + + +

(認証日 令和8年8月25日)

CO₂排出量原単位

-

(算出に必要な一部情報が不足)



遠隔自働RTGとAGVの自働荷役
(アイドリングストップ・夜間消灯自働荷役)



遠隔自働RTGとトレーラーの遠隔操作



名古屋港港湾脱炭素化推進協議会